

※第4回スノーリゾート地域の活性化推進会議(平成30年6月1日)参考資料1を最新のデータに更新したもの

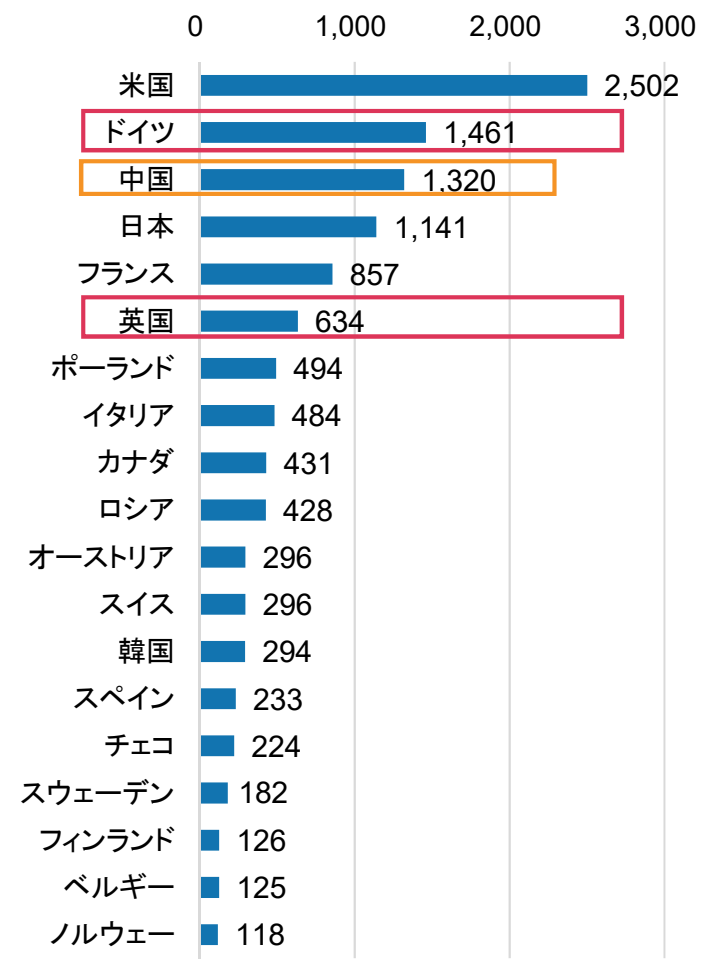
# 海外スキー市場に関するデータ整理

令和元年12月20日

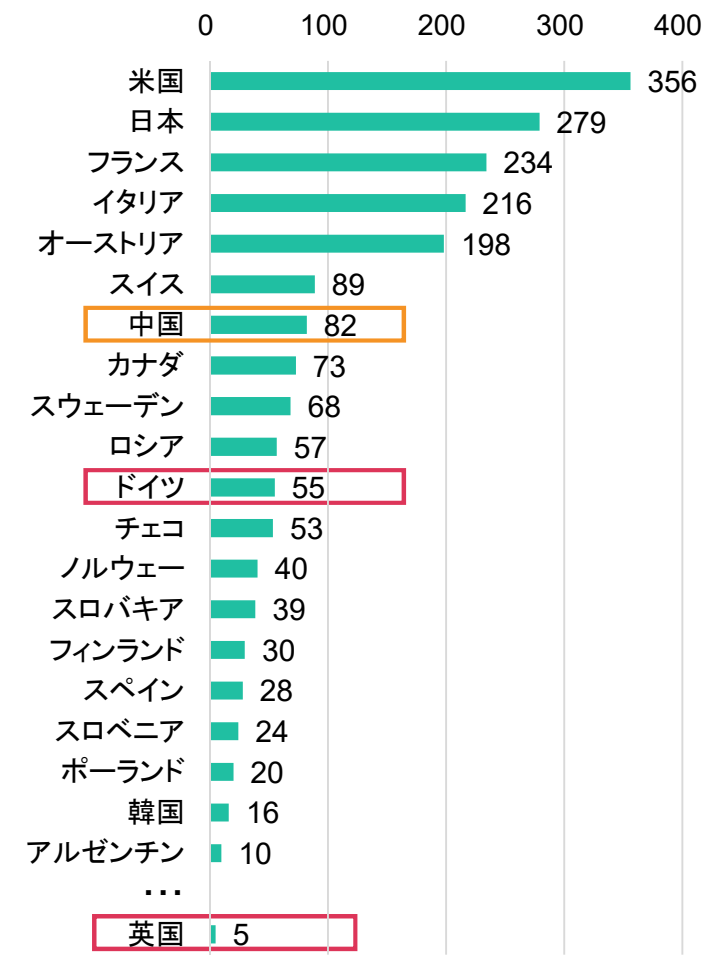
# スキーリゾート数・スキー人口等に関する国際比較

- 潜在的スキー人口が多い一方で、自国のスキーリゾート数(リフト5基以上)が少ないのは中国(1,320万人、82箇所)、ドイツ(1,461万人、55箇所)、英国(634万人、5箇所)であるので、**スキーリゾートへのアウトバウンド国**としては**中国、ドイツ、イギリス**が有望と考えられる。
- 一方、**スキーリゾートへのインバウンド**は、オーストリア(3,418万人)、フランス(1,436万人)、スイス(1,038万人)、イタリア(957万人)といった**アルプス諸国に集中**している。

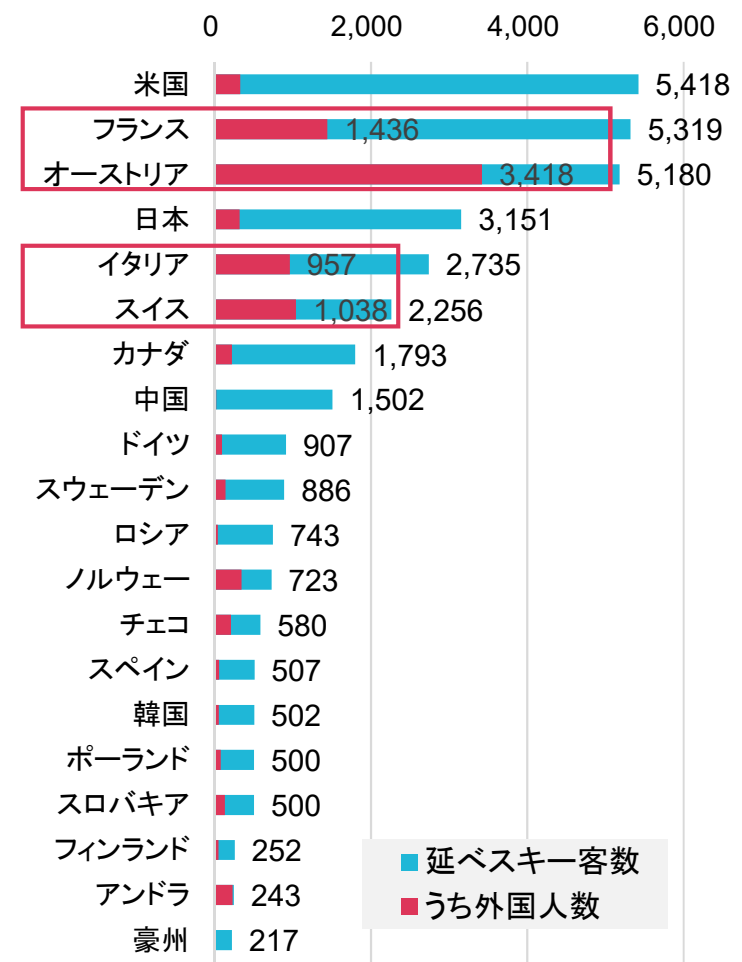
潜在的スキー人口(万人)



スキーリゾート数(リフト5基以上)



延べスキー客数(最新5か年平均、万人)



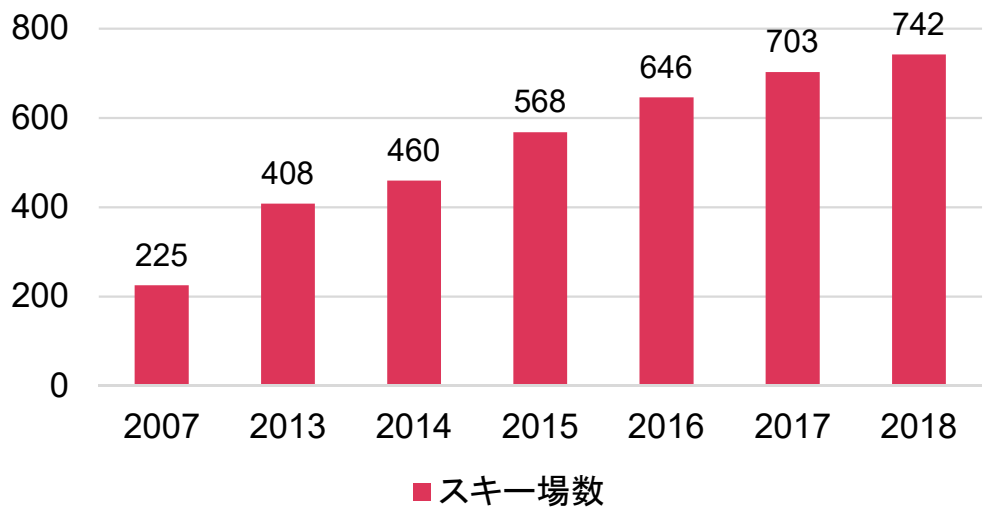
■ 延べスキー客数  
■ うち外国人数

(出典) Laurent Vanat, "2019 International Report on Snow & Mountain Tourism", 2019年4月

# 中国のスキー市場の概要

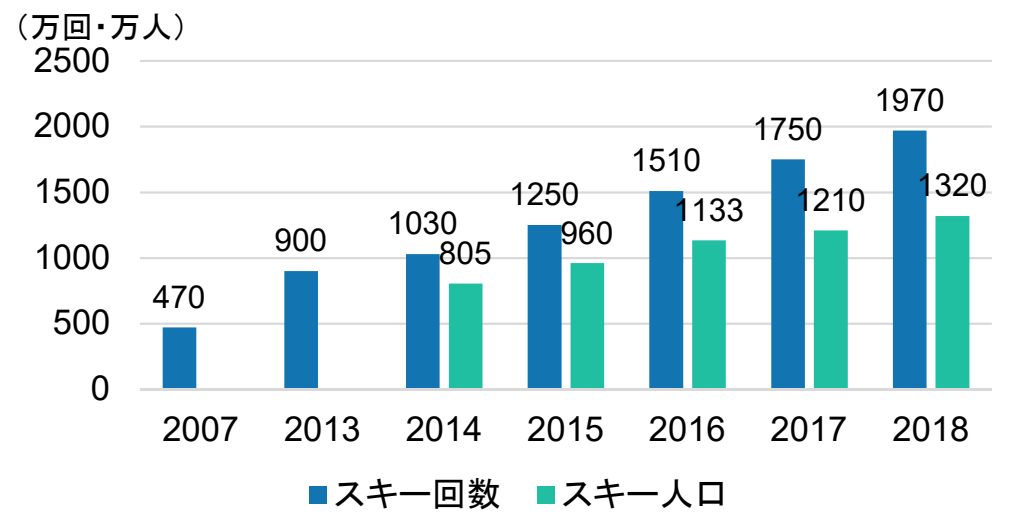
- 2022年北京冬季五輪に向けて、**中国スキー市場が急成長中**。
- 「全国冰雪スポーツ施設建設計画(2016~2022年)」、「冬季スポーツ発展計画(2016~2025年)」を策定し、2022年までに国内スキー場:800箇所、2025年までにウインタースポーツ参加人口5,000万人を目指している。

## 中国のスキー場数



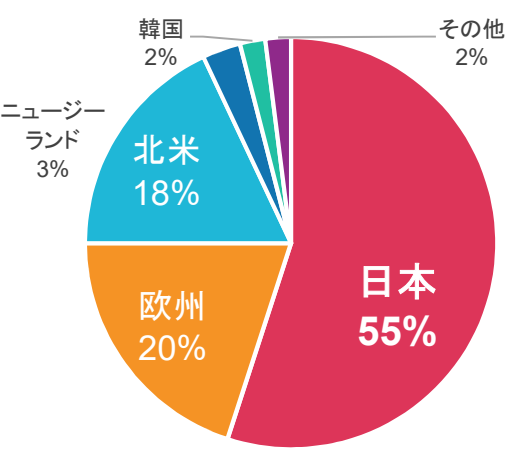
(出典) 2018中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

## 中国人のスキー回数・スキー人口



(出典) 2018中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

## 海外の人気スキー目的地

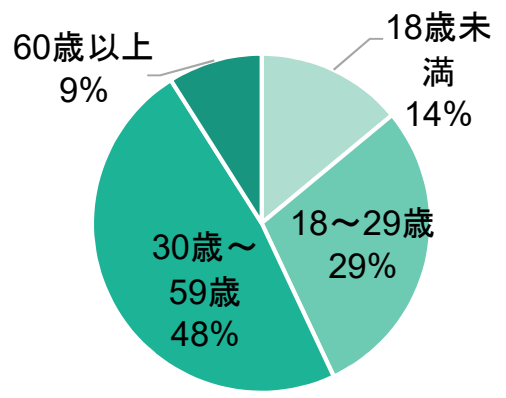


**<富裕層にも日本でのスキーが人気>**  
 富裕層旅行に関する調査  
 (中国奢华旅游白皮书2017)  
 (調査対象:概ね1,000万元以上の資産保有者)

**人気スキー目的地**  
 1位 日本(32%)  
 2位 韓国(10%)  
 3位 カナダ(8%)  
 4位 スイス(7%)

(出典) 2017中国滑雪产业白皮书(中国スキー産業白書)

## ウインタースポーツ(スキー以外を含む)参加者の年齢分布



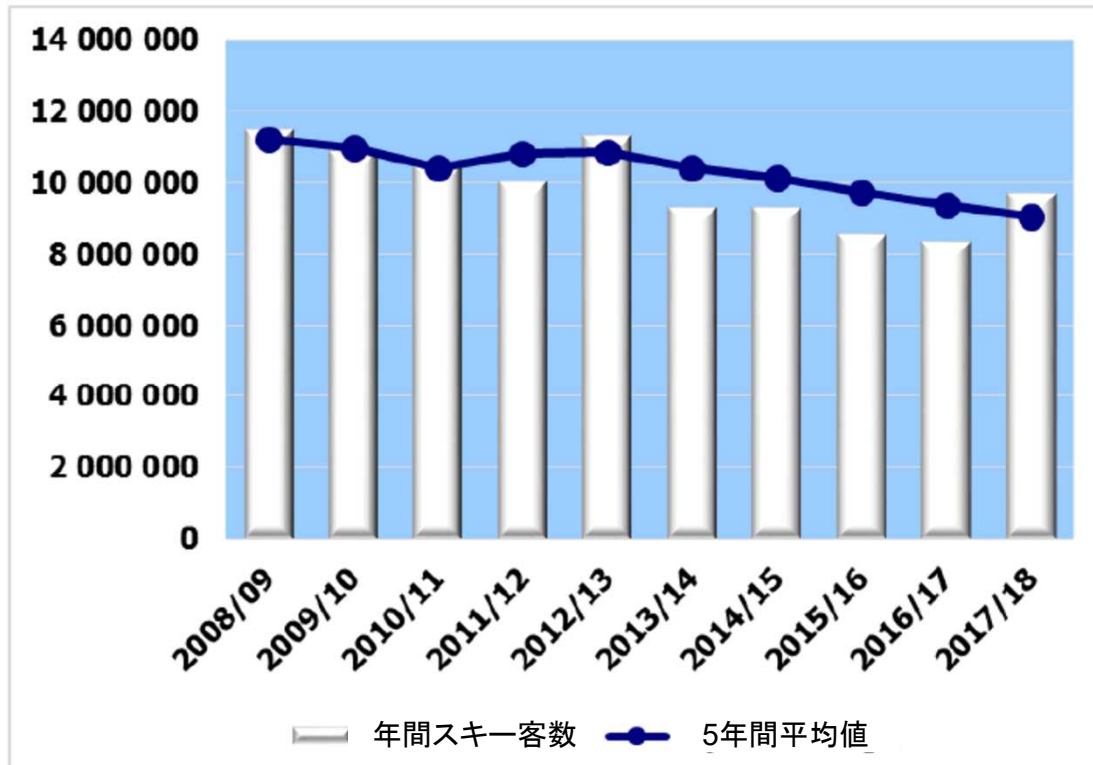
**ウインタースポーツの参加者は30代以上が中心**

(出典) 中国冰雪旅游发展报告2017

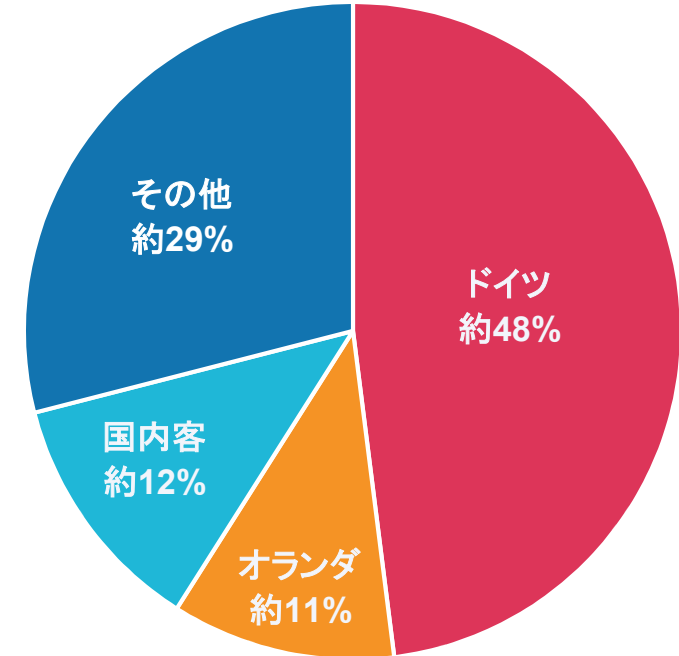
# ドイツのスキー市場の概要

- ドイツ国内の潜在的スキー人口は1,461万人と欧州で最多。
- 一方、ドイツ国内のスキー場(498箇所)のうち、半数近くがリフト数1基の小規模なスキー場であり、ドイツ国内のスキー場は小規模なものが多いことから、**ドイツは世界のスキー市場におけるアウトバウンド大国**となっている。

＜ドイツ国内のスキー客数の推移＞



＜オーストリアのスノーリゾート宿泊者の国別割合＞



(出典) Laurent Vanat, “2019 International Report on Snow & Mountain Tourism”, 2019年4月

(出典) Laurent Vanat, “2018 International Report on Snow & Mountain Tourism”, 2018年4月

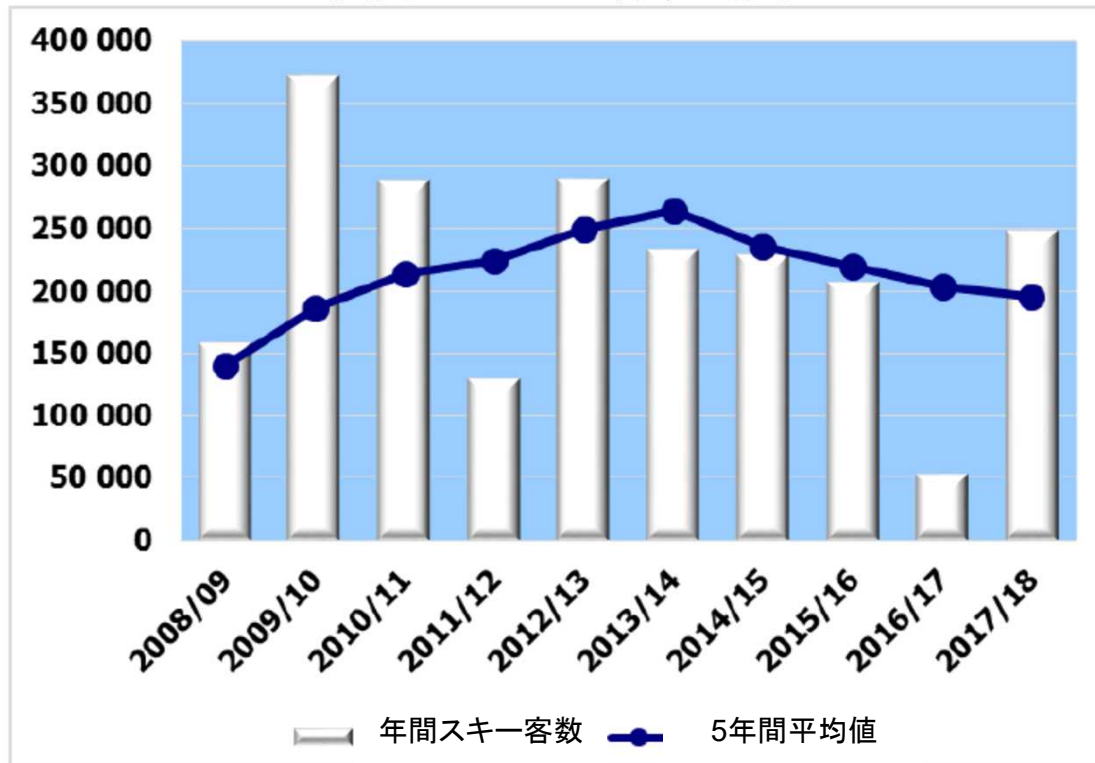
# 英国のスキー市場の概要

- 英国内のスキー人口は多いものの、国内に天然雪を使用したスキー場は非常に少ないためアルプス諸国のスノーリゾートを訪れている。

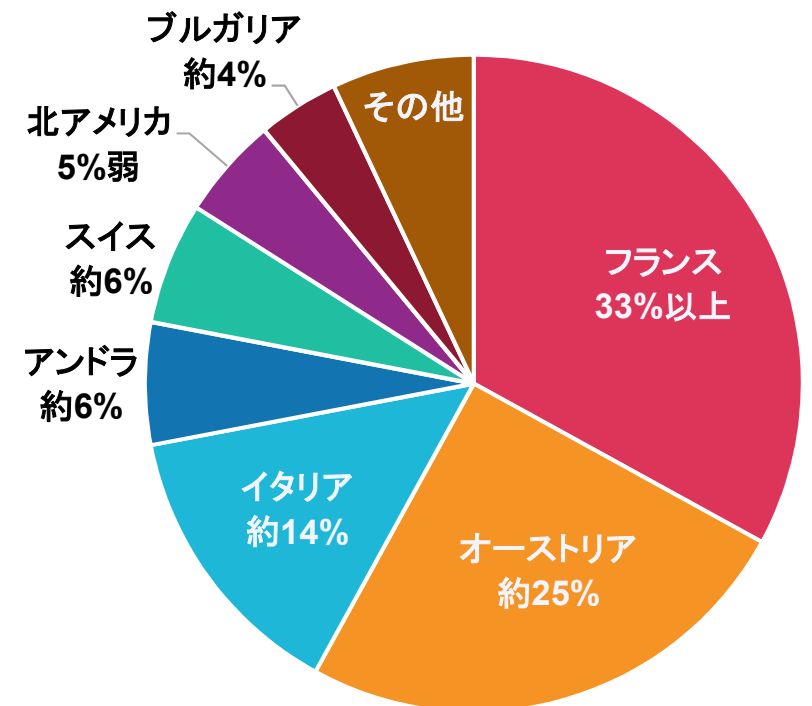
< 2019 International Report on Snow & Mountain Tourism より >

- 英国内の潜在的スキー人口は634万人と欧州第3位。
- 英国内で天然雪を使用しているスキー場はスコットランドの5箇所のみであり、天候と雪質の年によるばらつきが大きい。
- 室内スキー場が6箇所、ドライスロープが約50～60箇所あり、スキー・スノーボードの初心者層の拡大に貢献している。
- 100万人以上のイギリス人が毎年アルプス等の国外のスノーリゾートを訪れている。
- スキー旅行について以前は団体旅行が主流であったが、近年は個人旅行が増加してきている。

< 英国内のスキー客数の推移 >

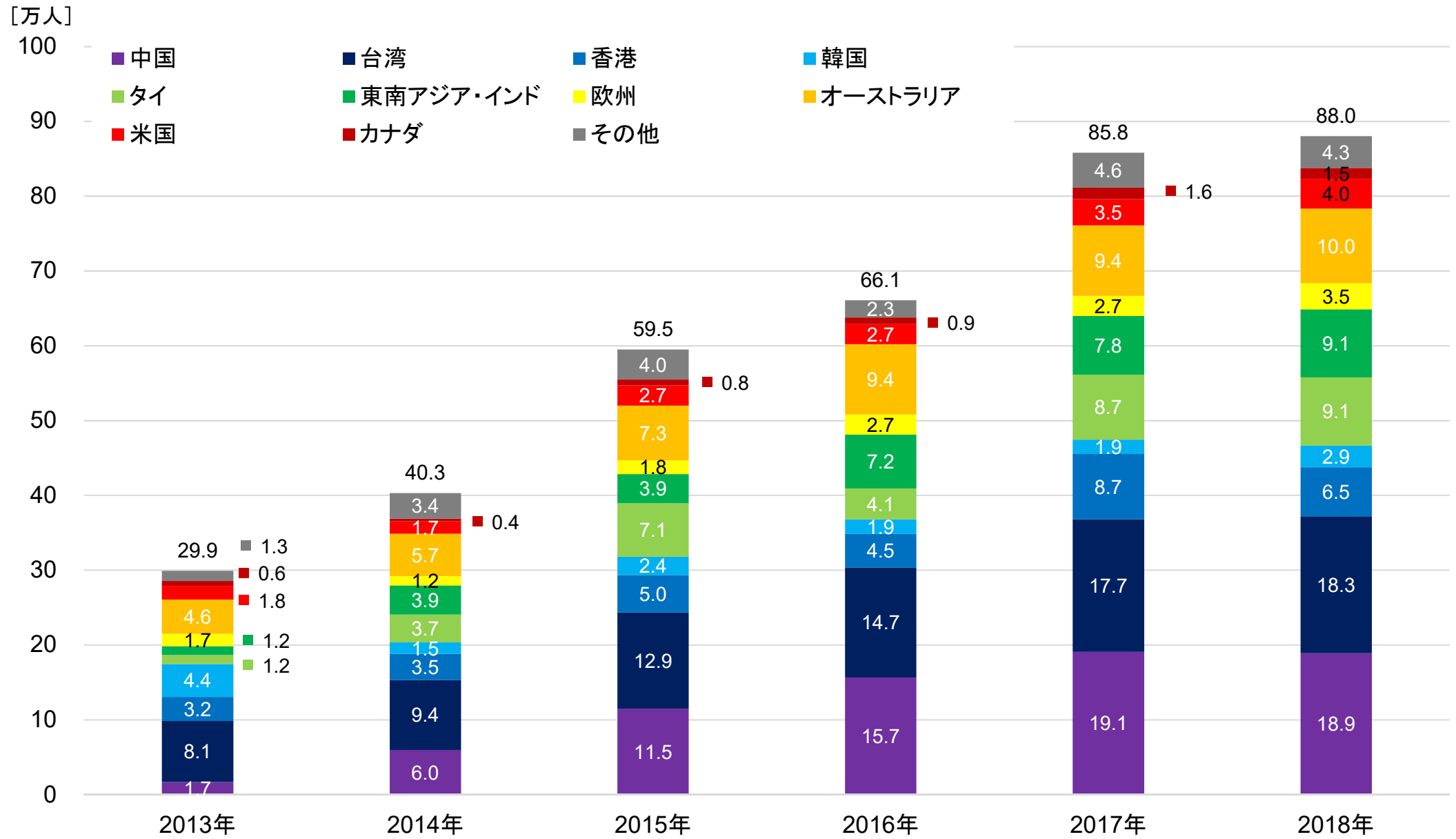


< 英国人のスキー目的地の割合(概数) >



(出典) Laurent Vanat, "2019 International Report on Snow & Mountain Tourism", 2019年4月

# 訪日外国人スキー客の推移(推計)

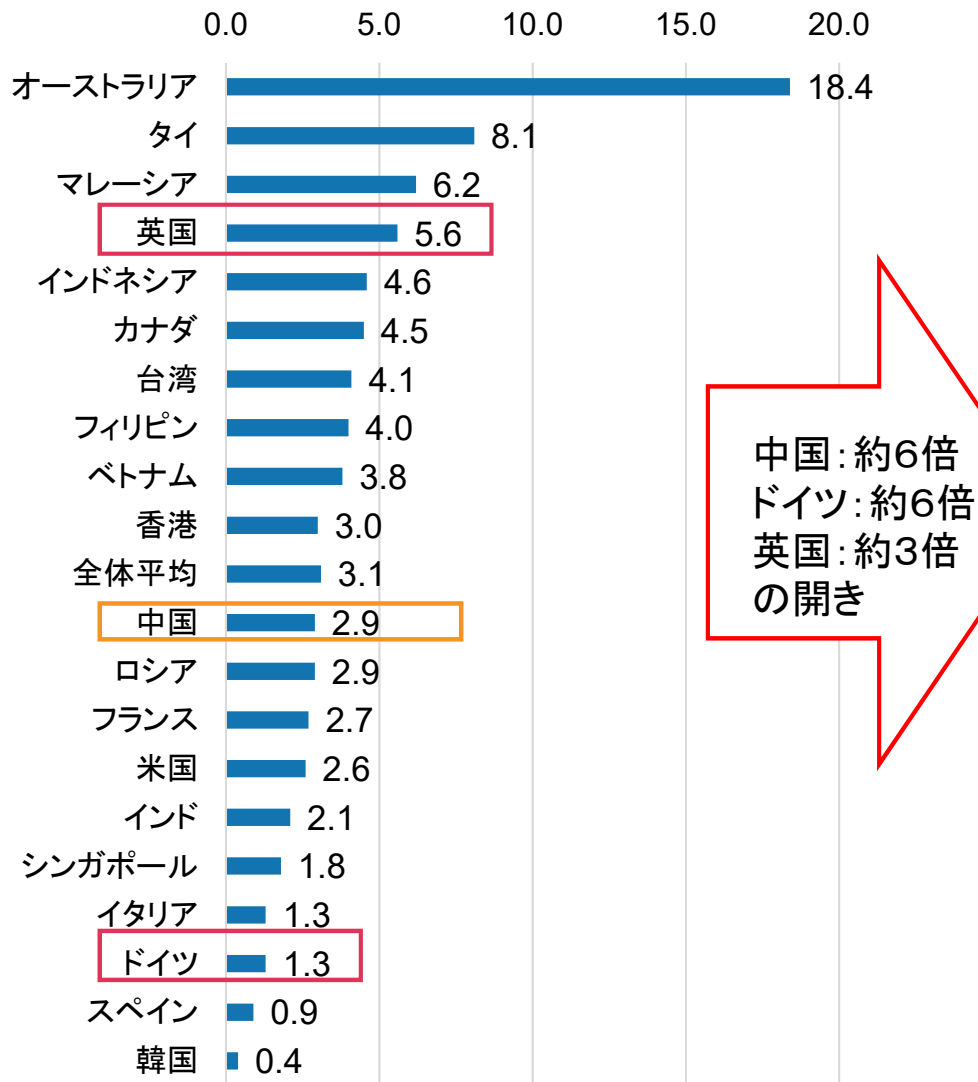


(出典) 観光庁「訪日外国人消費動向調査」各年版(全目的)から推計  
 ※訪日外国人旅行者数に対し、訪日外国人消費動向調査の「スキー・スノーボードを実施」の割合を乗じて算出  
 ※東南アジア・インド：シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド / 欧州：英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア  
 ※2011年～2013年の東南アジア・インドにはインドネシア、フィリピン、ベトナムは含まれていない  
 ※2011年～2014年の欧州にはイタリア・スペインは含まれていない  
 ※2018年より、訪日外客数からクルーズ客の人数(船舶観光上陸許可数)を除いたものより算出

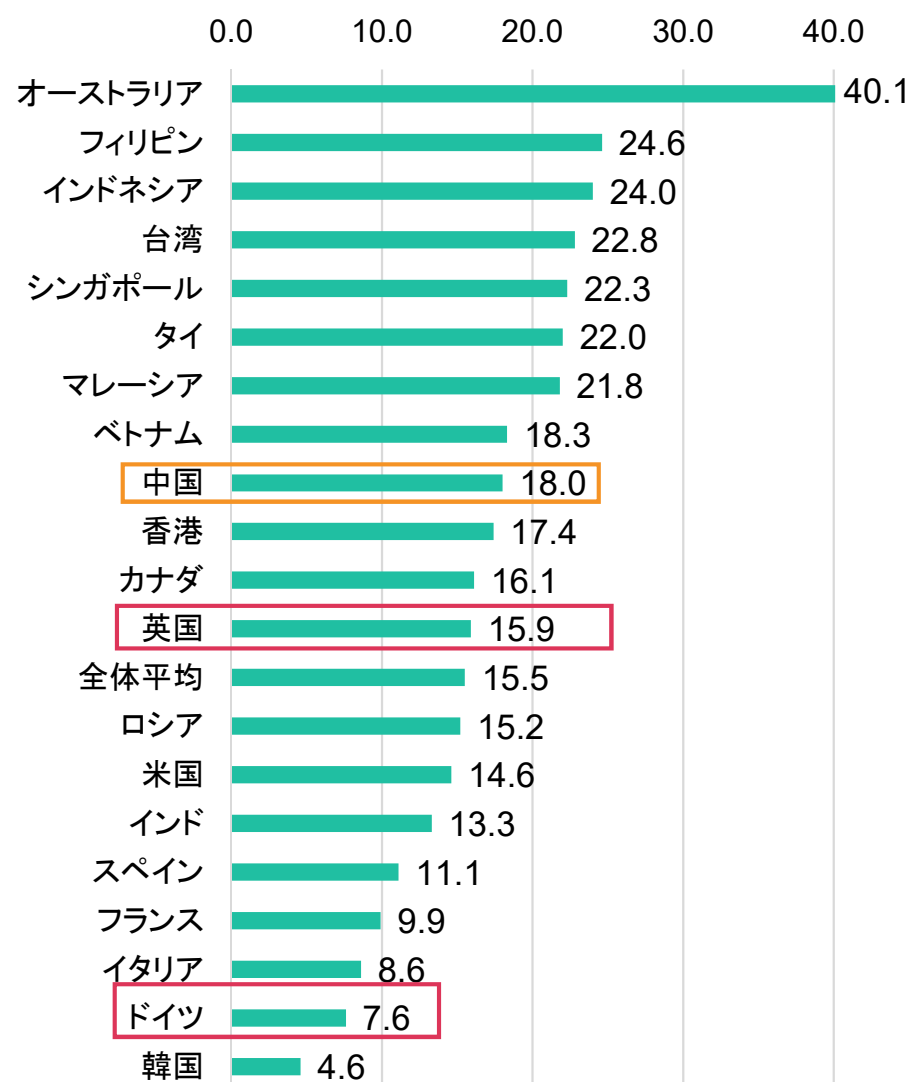
# 訪日外国人旅行者 国別のスキー実施意向比較

● 中国、ドイツ、英国ともに「今回したこと」と「次回したいこと」との割合に開きがあり(中国:約6倍、英国:約3倍、ドイツ:約6倍)、伸びしろが大きいと考えられる。

今回スキー・スノーボードを実施した割合(%)



次回スキー・スノーボードを実施したい割合(%)



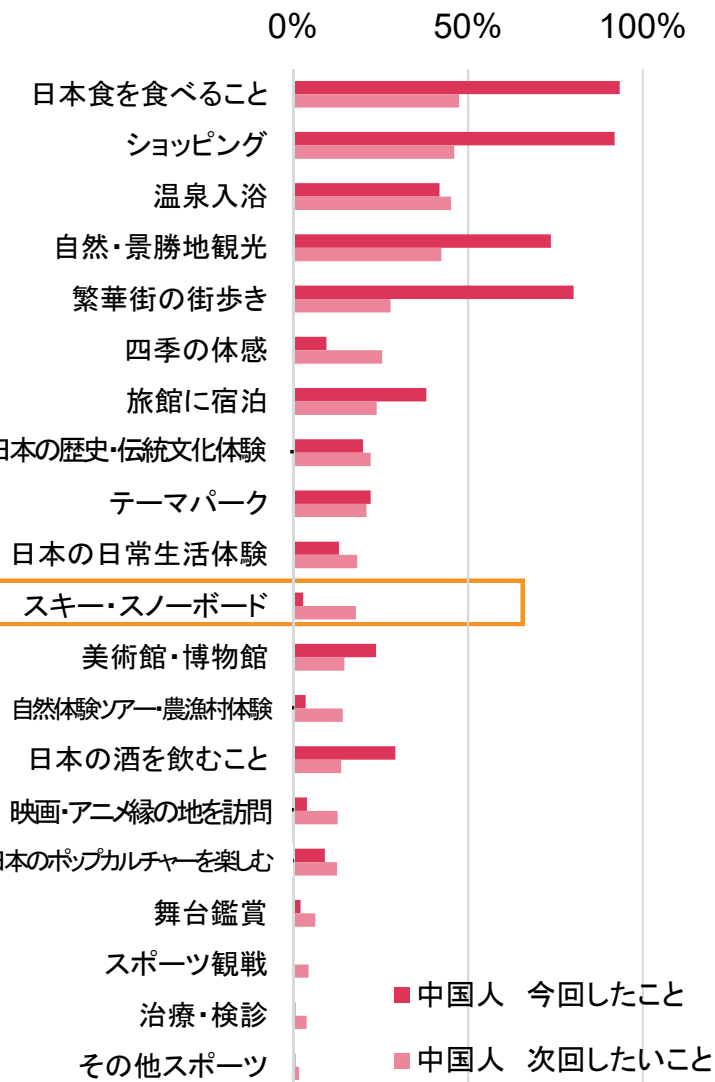
中国:約6倍  
ドイツ:約6倍  
英国:約3倍  
の開き

(出典)観光庁「訪日外国人消費動向調査」2018年

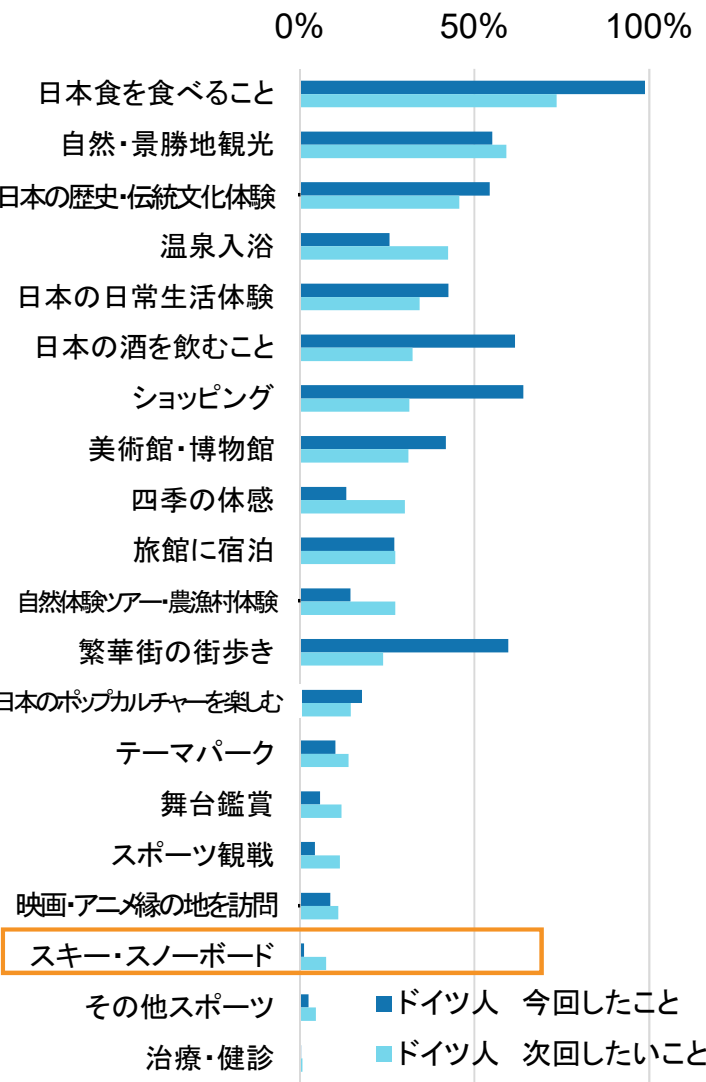
# 中国・ドイツ・英国のスキー実施意向(他項目との比較)

● 中国人、ドイツ人、英国人の訪日客の次回したいこと20項目のうち、スキー・スノーボードは、いずれも「その他スポーツ」より高い順位となっており、それぞれ11位、18位、14位となっている。

中国人訪日客が  
今回したこと／次回したいこと(2018年)



ドイツ人訪日客が  
今回したこと／次回したいこと(2018年)



英国人訪日客が  
今回したこと／次回したいこと(2018年)

